

# まるこやま

第47号

平成30年1月20日

〒699-1251  
雲南市大東町大東2419-1  
大東交流センター  
TEL(0854)43-2130  
E-mail:daito-c@hotmail.com

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会

## 迎春



新春を寿ぎ、安寧・繁栄を祈願する「歳旦祭」が平成30年元旦午前零時より、清田の西利田神社で執り行われ、5年ぶりに地元小・中学生が清田みこし会の奏でる奏樂にあわせて「元旦の舞」をおごそかに奉納しました。



上町宗専寺で毎年恒例となった除夜の鐘撞きに、近隣住民や帰省者およそ30人が訪れました。代わる代わる撞きながら準備されたおでんをいただきつつ、ゆく年と来る年に思いを馳せていました。



# 皆様の英知を結集し、 住みよいまちを創っていきましょう。

大東地区自治振興協議会 会長 小山保雄

明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族おそろいで良き新年をお迎えのこと、お慶び申し上げます。

平素は、大東地区自治振興協議会の事業推進にご理解ご支援を頂き誠にありがとうございます。本年も変わりませず、ご協力の程宜しくお願いいたします。

去年は『コウノトリ』の話題満載で、酉年が過ぎたような気がいたします。

さて、平成30年は大東地区にとって、地域社会にとって、最大の変化の年であると思われまます。30年前半には、丸子山周辺区画整理事業、県道上久野大東線金成上町間工区、県道松江木次線希望橋等の完成開通する予定になっています。さらに、31年5月頃には大東総合センターの移転、その後解体工事と進んでいきます。昨年11月26日に、大東地区自治振興協議会代議員会を開催し、行政との協働



のまちづくりを目指して、次の2点について「大東の明日を考えるまちづくり会議」を各種団体（12団体、大東高校を含む）で開催していただき、3月5日までにその取りまとめをお願いしたところでございます。

①大東総合センターの跡地利用について

②悠々広場の再整備について

今年は戌年です。ワン、ワン、ワンと忌憚のないご意見を、お待ちしております。

おわりに、今年1年が活発で幸せな年であります様、心よりお祈り申し上げ年頭のごあいさつといたします。

## 松江木次線バイパス(第3工区)に信号機設置の「要望書」提出

12月18日（月）、主要地方道松江木次線バイパス大東地区整備促進期成同盟会（会長 曾田昌吉）では平成30年春に完成・開通予定の主要地方道松江木次線バイパス（第3工区）と市道中央線（大東総合センター前）や市道稗廻線（大東体育文化センター前）との交差点に信号機設置計画がないことから、交通安全確保のために信号機設置にむけた「要望書」を雲南警察署長及び雲南市長に提出しました。

これには、小山大東地区自治振興協議会会長、水戸大東地区振興会副会長、深田交通安全協会大東東部支部長も同席し、地域住民挙っての願いを届けました。

当該交差点は、一日の交通量およそ12,000台といわれる幹線道路と家屋が密集する連坦地や丸子山公園、体育文化センター利用者からの出入りが多いと予想される市道との交差点です。徒歩での通勤、通学、通園時の通過点でもあり、信号機がない現在でも南北に通過するためにはかなりの危険が伴っています。

近い将来バイパスが全線開通しても信号機がないともなればいかんともしがたい状況になると考えます。

信号機が設置されることにより、大東町民のみならずこの交差点を通行する人達皆が安心して渡れる交差点であって欲しいものです。（事務局 西村）



# 新庄地内での「ミニ住宅団地造成事業」の実施について

大東地区移住定住暮らし相談室 水戸勝春

大東地区地域自主組織では「大東地区移住定住暮らし相談室」を開設し、人口減少対策の一環として移住・定住される方の相談支援や空き家利活用の促進をするとともに、大東地内への「ミニ住宅団地造成事業」の導入を雲南市に要望してまいりました。行政機関でそれぞれ検討がなされた結果、新庄地内でこの事業を実施することが決定されました。

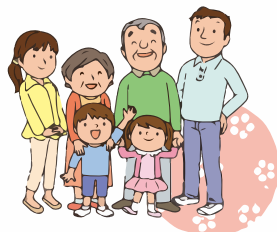
事業決定に伴い、去る12月5日大東地域交流センターにおいて土地関係者、周辺自治会長、事業関係者等による事業実施説明会が開催され、出席者の皆さんの賛同のもと、事業が正式に推進される運びとなりました。

場所は新庄地内「グランデだいとう03」の北側約8000㎡の用地で、20～25区画程度に分譲用住宅団地が造成される見通しです。今後の事業計画は、平成30年秋ごろから工事に着手し、平成32年度末には全事業完了の予定で進められます。



「大東地区移住定住暮らし相談室」では、本事業の一日でも早い完成により、入居者の確保が図られ人口減少対策の一助になればと期待するものです。円滑に事業が推進されるよう一層の努力を行なってまいりますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

## 新たな まちの絆を めざして



今年も地域住民や世代間のふれあい、交流促進、青少年の健全育成の場として、大木原の自治会・竹馬会・たつみ会共催の親子そば打ち体験交流会が12月30日大木原公民館で開催されました。今年で5回目となるこのそば打ち交流会にはおよそ子ども30人、大人20人が参加し、約20キロのそばを3時間掛けて打ちました。七夕祭りやとんど祭りなどと共に、大木原自治会の枠を超えた大人と子どもが交流し、地域の絆が強まっています。



### 平成30年度

#### 『まちづくり活動助成事業』の募集

大東地区あいあい募金運営委員会

平成22年12月に開設した「大東地区振興あいあい募金」にこれまでたくさんのご寄付をいただきました。この寄付金を活用した「平成30年度まちづくり活動助成事業」の助成申込受付を行います。

- 対象** 10名以上の会員を有する大東地区内の活動団体
- 事業** 地域振興に資する事業
- 金額** 5万円以内の助成金
- 受付** 2月13日～4月27日
- 申込** 大東交流センター内  
大東地区振興あいあい募金運営委員会 (TEL:43-2130)

### あいあい募金

ご寄付に  
感謝致します

事務局 TEL.43-2130

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただきます。

- ・大東町(新庄南) 陶山 茂美 様 (香典返し)
- ・大東町(織部) 遠藤 幸伸 様 (香典返し)
- ・大東町(上町) 深ヶ迫 幸雄 様 (香典返し)
- ・大東町(東町南) 光谷 由紀子 様 (一般寄付)
- ・大東町(新庄南) 佐藤 由己 様 (香典返し)
- ・大東町(西町) 小山 良二 様 (香典返し)
- ・大東町(西本町) 飯石ヤヨエ 様 (香典返し)

# まなびの泉



## 「強い気持ちをもつ」

上代小建太



僕の今年のめあては、「強い気持ちをもつ」です。小学校の6年間ずっと同じ仲間と過ごしてきました。中学校に入学すると新しい友達がたくさんやってきますが、嬉しい反面、つい恥ずかしさから自分の良さが出せないかもしれません。だから僕はそんな弱い自分に打ち勝つために強い気持ちをもち、みんなに声をかけてたくさんの友達を作りたいです。強い気持ちをもちながら中学校生活を楽しみ、たくさんの友達と色々なことにチャレンジをしていきたいです。

## 「がんばりたいこと」

林 優温



私が今年、頑張りたいことは、誰とでも楽しく接することと、勉強のとき、自分の意見を全体の前で伝えることです。誰とでも仲良く接することでクラスがより明るくなったり、困ったときはお互いに助け合う気持ちが生れたりすると思います。これまで積極的に自分の意見をみんなに伝えることはあまり得意ではありませんでした。卒業まで、あと少しなので、みんなで良い思い出ができるように何事にも一生懸命、積極的に取り組みたいです。

## もちつき たのしかったよ〜

雲南市立大東保育園長 岩田 長子

1月11日（木）毎年恒例の餅つきを、29名の保護者の方を交えて賑やかに行いました。（なんとお父さんの参加が10名も）

最近では家庭で餅つきをすることが少なくなり、保育園でしか経験しない子どもが増えてきました。日頃見慣れない臼と杵、杵の動き、餅をつく音、絶妙な返し手で餅が動く様子、立ち上る湯気と餅の香り…子ども達はそのどれも見逃すまいと真剣な表情で、「よいしょ！！」の掛け声にも力が入ります。そして、目を輝かせながら小さい杵で餅をついたりつきたての餅を丸めたり等日頃味わうことのない経験・感触を楽しみました。

子ども達の大好きなお餅、今年はお母さん、おばあさんが『黄な粉餅屋』『ぜんざい屋』『砂糖醤油屋』に分かれお店を開店、子ども達は自分の好きな種類の餅を何度もおかわりをして食べ、心ゆくまで楽しみました。外は大寒波の襲来で深々と雪が降り積もる中、保育園の遊戯室は餅つきの湯気と子どもたちの熱気で心も身体もホカホカ、ホコホコでした。

こうした伝統行事ができるのも地域や保護者の皆様のご協力あってこそです。今後もご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



2018信州総文祭へ県代表作品として推薦

## 「mind」

大東高校2年 持田菜々香



私がこの絵を描いた理由は題名の通り「mind」…心、何を描こうかと思った時にカメレオンを描きたい、人物を描きたいという気持ちだったからです。特にその時カメレオンの生態に興味があり面白いと思っていた私は、どうしてもカメレオンが描きたいと思いました。私は1年生の時も人物画を描き、難しいけど楽しい人物画を今回も描きました。

この絵を描いて大変だったことは、自分が描きたいところはすぐ決まるけどそれ以外の余白のスペースに何を描くかをとても悩みました。また、時間が足りずラスト1、2日であがいた感じになりました。人物の顔もまだまだ描き込めなかったり、絵の下の方の大きなカメレオンもあまり時間がかけられず、自分としてはまだ納得の出来ない仕上がりになっていました。心が残りです。

ですが、先生方とも話し合っってここまで仕上げることが出来ました。パンサーカメレオン独特のカラフルな模様も描くことが出来たのでよかったです。



県高校美術展講評

(S50 油彩)

自画像であろうか、カメレオンとスクエアサイズに大胆に構成した作品である。あえて後ろ足を省略したと思われるカメレオンの描写には目を見張る表現力があり、人物とオーバーラップしたカメレオンとともに、画面に右回りの動きを作り出している。枝で囲われた構図にも作者の高い構成力を感じる。

久しぶりの秋日和の下で

# 元花博会場 鶴見緑地でのBBQ

(事務局長 藤原 洋二)



昨年10月22日は台風21号、29日は22号で天候に恵まれなかったが11月5日は3週間ぶりに晴天に恵まれた。天候の良い日に野に放たれた解放感はペットだけではなく人間も同じ。

今回のBBQは「デジキュー」（バーベキュープラットホームサービス）に一任しアルコール以外は全てお任せのコース。参加者は体一つで食うことと飲むことに専念すればよい企画とした。

10時20分に地下鉄鶴見緑地駅に集合も皆バラバラ。予定の園内散策もなしにBBQ会場にまっすぐ。ここは平成2年（1990年）に国際花と緑の博覧会（花の万博）が開催された跡地。広大な敷地（約126ha）のため事前にお渡しした案内図ではBBQの場所も良く解らず、着くまでが散策となったようだ。着くや否や開始することで皆さん了解。食うことへの決断は早い。

参加は会員以外に家族、元会員、それらに関係する方々等36名。（下写真）思い思いの席について会長



の乾杯で開始。

普段なかなか会えない方（兄弟、友人等）がこの催しを利用していただけるのが開催するものとしては嬉しい。

設備、食材は全て準備してくれる。食材にも色々あり今回はバラエティーセット。参加していただいた皆さんには満足していただけたのでは。（上写真）またこのスペースは柵で囲いBBQ専用となっているので周りの遊ぶ方等に気兼ねせずのんびりとできたことも良かった。時間とともに周りにも他のグループが増えにぎやかになってくると同時に、大東会もアルコールでテンションも上がり盛り上がっている。お腹を満たし、尽きない会話に区切りをつけ、眠っている人を起こし午後3時頃解散。

これが大東会としての行事も最後になるかもしれない。今後の大東会の方向については雲南市近畿ふるさと会との関係もあり、どのような方向にもっていくかが課題となっているが、どのような形になろうともこの結束は続けて欲しい。

公園を後にするときには陽も傾き展望塔に反射する陽のまぶしさ（右写真）をこらえながら家路に向かう。またこの景色を見て花博を思い出される方も多かったのでは。



にがおえて  
こんにちは!

## 「ひと・場所・もの」をつなぐ場所づくりを目指しています

つむぎ（JR出雲大東駅管理者）代表 南波由美子

一昨年4月から、出雲大東駅の駅長をさせて頂いています。駅長と言ってもJRの職員ではなく、雲南市の指定管理業務を受けて施設管理やJRの切符販売をしています。

駅は本来、人と人との出会いと交流を促進する場・町づくりの拠点・町と町をつなぐ役割を持っている施設です。その駅を使って地域を超え・世代を超えた繋がりを作りたいと考え、イベントを企画しています。

昨年6月に開催した「大東ほたる祭り」では雲南市の女性の集いの皆さまのご協力を頂き「ハバコン」を開催しました。新しい形の世代間コミュニティが形成され、イベントが終わった後も交流は続いています。

また、「夢チャレステーション」として、若者のはじめの一歩も応援しています。一人では出来ないことも、仲間がいれば一歩を踏み出すことができます。

今後も出雲大東駅が「やりたい！」を叶える場所となり、「この地に生まれて良かった！」を実感できるような瞬間作りを提案したいと思います。

(絵：大東町東町北 細田 滋)



## 郷土の暮らしと文化

### 「勝田の森」(かったのもり)

大東の歴史を探ねる会 宮澤 明久

大東のなつかしい風景や人々の生活を写した写真がありましたらご提供ください。  
(編集委員会)

大東高校の校舎と校庭の間を山田方面から降りてくる坂があり、神田橋(加多橋)を渡って大東の街へと入る。

江戸時代の一時期、加多(かた)神社は時の流行りに乗り勝田(かった)大明神と称していた。その名残で加多神社は、古来からの正式な呼称「かた」神社ではなく「かった」神社と呼ばれることが一般的になり今日に至っている。

加多坂を降ると赤川に架かる橋があり「神田(かんだ)橋」と呼称されているが、幼い時からの脳裏には「かった橋」と呼んでいた記憶がある。

昭和25年に制定された大東高校の校歌に「勝田(かった)の森」と当時在職しておられた萬波教教諭が作詞されている。校舎周辺一帯を指して呼称されたと思われるが、加多ではなく勝田である理由は知る由もない。

時代の流れと共に呼び方にもそれぞれに歴史がある。百周年を迎えようとしている大東高校で謳われてい

る「勝田の森」が加多神社に由来していることを在校生たちはもちろん卒業生たちも理解していないままであるならば、入学時には校歌をきちんと理解させておく必要がある。

まもなく百周年を迎えるが、数年前から一学年3学級にまで生徒数が減少し仄聞するところでは他校との併合も俎上に上がるやに聞いている。野球部員たちが毎日練習の終わりに歌う「勝田の森」をいつまでも聞きたいものである。



とみ く あきら  
**富久 晃さん** (上町在住)

島根大学文理学部理科物理卒業後教諭となり、地元大東高校で退職するまでの約40年に亘り高校物理・天文教育に専念する傍ら、各地で青少年のための天文講座や理科大好きボランティア教室を開催する等、全国レベルで専門知識を発揮されました。その功績を称えられ2014年には「教育功労賞(物理)」も受賞されています。

現在も、日本天文教育普及研究会会員、島根天文協会会員として、また、雲南星空の会代表、雲南七夕星観台長としても活躍。子どもたちにはロマンと夢を、また大人、老人の皆さんには、生きていることの喜び、生き甲斐を与えようと日々努力されています。

そんな富久晃先生のお話を伺いに自宅を訪ねました。廊下にも書斎にも、また案内された部屋にも専門書籍や、自作の天体・星座の模型や天体望遠鏡など夢を乗せた作品が並びます。

**Q** 毎年七夕の頃、大東交流センター屋上UTA0(ウータオ、雲南七夕星観台)で「星空観望会」を開催されていますが、

今年で1995年開催以来20回目の佳節を迎え、記念の企画をしたいです。街の中に星観台があることは大変珍しいことありがたいです。是非皆さん利用して欲しいですね。今年の夏は15年ぶりに火星が大接近し、大変明るく見えます。(7月31日が最も近づきます。)南の空には、西より東へ木星、土星、火星と見えるでしょう。近いところでは、1月31日には、月食が見られます。

**Q** 島根日日新聞に「世界物理年2005に思う科学ノススメ」を3年に亘り46回連載されましたが、

世界的物理学者アインシュタインが相対性理論を誕生させて100年目の2005年は世界物理年でした。この偉人の社会的存在を書き残すべく文献を調べているうちに「戦争」に突き当たり、その悲惨さ、平和の尊さを知り、雲南市居住の平和の偉人、長崎原爆の永井隆博士と地元大東町出身の日本女子大学元学長上代タノ女史の活躍と平和思想に辿り着き、書き残したものです。いずれも平和のために身を挺した人達でした。

**Q** どんな「人生観」をお持ちで。

「宇宙心」を広めたい。無限の時間、人類が幸福になる。「且座喫茶!」「釣月耕雲!」の気概で自然と人生を哲学し、長寿に天与の能力を磨き才覚を育て、共に助け合い、平和のため役立ちたいものだどと虚心坦懐で臨みます。

リハビリテーションカレッジ島根(RCS)の講師もやりながら自然農健康法試行中です。天文・宇宙のこと、いつでも電話をください。どこへでも出かけて話します。

コタツにはまり込んで次から次へと話が続きます。外はみぞれ混じりの荒れ模様、部屋の中は、熱い話で汗がにじむ程。夜空の星を見ると宇宙へのロマンと夢が広がります。(西村記)

平成29年 12月末現在の 人口・世帯数 【( )内は対前月比】	項目	総人口	男性	女性	世帯数	高齢化率
	雲南市	39,234人(▲71人)	18,876人(▲23人)	20,358人(▲48人)	13,838世帯(▲24世帯)	37.44%
	大東町	12,529人(▲9人)	6,085人(▲4人)	6,444人(▲5人)	4,187世帯(1世帯)	37.28%
	大東地区	3,642人(—)	1,742人(—)	1,900人(—)	13,838世帯(—)	—